省略（注）の箇所は、著作権の都合上省略しています。

2026年度　　W

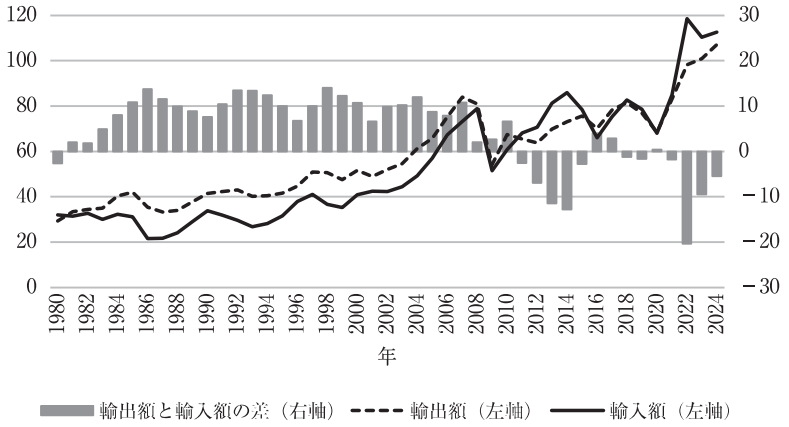
論　　述

注　意

1. 問題は全部で 10 ページである。
2. 解答用紙と下書き用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 下書き用紙は採点の対象にはならない。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙と下書き用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

設問１　図１および表１は、それぞれ日本の貿易額を輸出入およびその差額と貿易相手地域別の金額を示したものである。これらの図表をみて問１と問２に答えなさい。

図１．日本の貿易（単位：兆円）



（出所）　財務省ウェブサイト、「財務省貿易統計」（https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm）より作成。

表１．日本の地域別貿易額（単位：兆円）

		アジア	大洋州	北米	中南米	西欧	中東欧・ロシア	中東	アフリカ
2000年	輸出額	21.3	1.1	16.2	2.3	9.0	0.3	1.0	0.5
	輸入額	17.1	1.9	8.7	1.2	5.6	0.6	5.3	0.5
2010年	輸出額	37.8	1.8	11.2	3.9	8.0	1.4	2.2	1.1
	輸入額	27.5	4.3	6.9	2.5	6.4	1.7	10.4	1.0
2020年	輸出額	39.2	1.7	13.4	2.3	7.7	1.5	1.8	0.8
	輸入額	34.7	4.4	8.6	3.0	9.0	1.8	5.6	0.9
2024年	輸出額	56.9	3.1	23.0	4.7	11.9	2.1	4.2	1.3
	輸入額	53.9	8.9	14.7	5.0	13.8	2.0	13.0	1.4

（注）　特殊地域を除く。

（出所）　図１に同じ。

問１　図１と表１のみに基づいて判断した下記の１から４の文章について、A．正しい、B．正しくない、C．グラフからは判断できない、のいずれであるかをアルファベットでそれぞれ答えなさい。

１．1981年から2010年までは輸出額の方が輸入額よりも大きかったが、2011年以降は逆転する年があった。
２．2000年、2010年、2020年、2024年の日本の北米との貿易は、いずれの年も輸出額より輸入額の方が小さかった。
３．2022年に輸出額と輸入額の差が最も大きなマイナスとなったが、これは中国からの輸入が増えたためである。
４．日本の輸出額が多い順に地域を並べると、2000年と2024年で同じだった。

問２　次の文章のカッコに入る数字を計算して求めなさい。なお、小数点第２位を四捨五入して小数点第１位まで求めること。

2000年の日本のアジアからの輸入額がアジアからアフリカまでの８地域の合計に占める割合は41.8％であったが、2020年は（　a　）％であった。また、2010年と2020年の日本の北米との貿易をみると、輸出額、輸入額ともに増えた。
2024年の北米に対する輸出額がアジアからアフリカまでの８地域の合計に占める割合は（　b　）％であった。

設問２　次の文章を読み、問１と問２に答えなさい。

省略（注）

省略（注）

省略（注）

（出所）　宮永健太郎(2023)『持続可能な発展の話――「みんなのもの」の経済学』岩波新書より抜粋。なお、図の番号は出題文に合わせるとともに、下線を追加したほか、本文の一部を改変した。

問１．下線部(a)について著者はどのように説明しているか。100字以上125字以内でまとめなさい。

問２．ギャレット・ハーディンとエリノア・オストロムはコモンズについて、それぞれどのような主張をしたか。100字以上125字以内でまとめなさい。

設問３　次の文章Ａ、Ｂを参考に、問１から問３に答えなさい。

文章Ａ

省略（注）

省略（注）

文章Ｂ

省略（注）

問１　文章Ａは、世界の貧困状況を説明したものである。次の①から⑤で同様のことを述べている文章を選び、その番号を回答欄に記入しなさい。

① 極度の貧困層は28億人以上にのぼる。

② 6.85ドル以下で生活している人々は、世界人口の３分の１以上に相当する。

③ ひとたび貧困削減に成功した国は、ちょっとしたことでは貧困状況には転落しない。

④ 国家間・国家内の武力紛争は、貧困の悪化とは関係がない。

⑤ いまだ低・中所得国における多くの労働者は、インフォーマル部門で働いている。

問２　文章Ａの下線部(b)は、「レジリエンス」、すなわち困難や危機、ストレスのある状況に直面しても、それを乗り越えて回復、適応、変容する力のことである。文章Ａではなぜレジリエンスが必要だと述べているのか。50字以上75字以内でまとめなさい。

問３　文章Ａと文章Ｂの両方を通じて、「持続可能な社会」を実現するために必要な政策や仕組みについて、あなたが重要だと思うものを１つ挙げ、その理由を述べなさい。文章Ａと文章Ｂの内容に触れながら、200字以上225字以内でまとめなさい。